

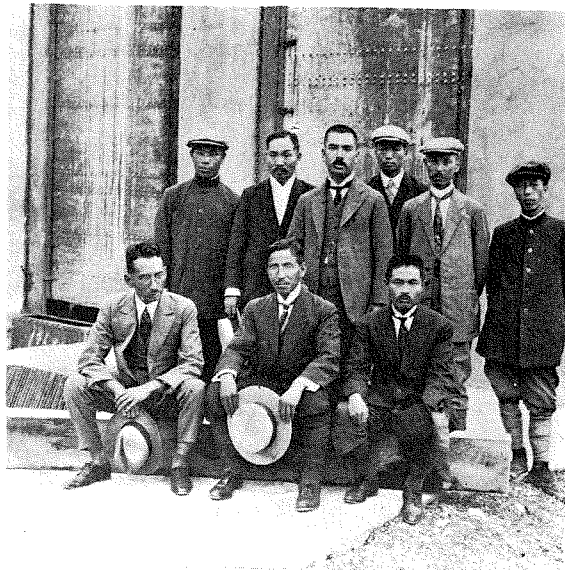
富山縣營の水電工事小景

水力電氣發電所の經營は殆んど其總てが民間會社の手によるもので、全國に於ける無數の水力地點も之が爲めに大に開發せられたわけであるが、縣營其他の地方廳官營のものも近頃ポツポツ出来る。之は地點の關係もあらうが最大の理由は經濟的に最も打算が簡單である故に思はれる、富山縣廳電氣局の水電工事は前途尙多忙なりと聞く、此の寫眞は舊寫なるも多數の中より其二三を掲げたものである。

周波數=60
相 數=3相
回轉數=450 R. P. M.

富山縣營松ノ木發電所概要

- 一、有效落差 138尺
- 一、使用水量 最大540個
- 一、發電力 4,660 キロワット
- 一、水 車 日立製作所製造
型 式=横軸双水
フランシス型
最大出力= 4,000 馬
力(2臺)
- 一、發電機 同上製造
容量=3,290 K. V. A
型式=S. N B. D. 型
R. E 式
極數=16極
電壓=6,600 V.



(1) 富山縣營水電水槽制水門附近に於ける伊東富山縣知事一行
(2) Mr. Ito, Governor of Toyama Prefecture and his Associates on the Way of Visiting the Power Plant.

3 圖富山縣營水電松ノ木補給水路沈砂池全景

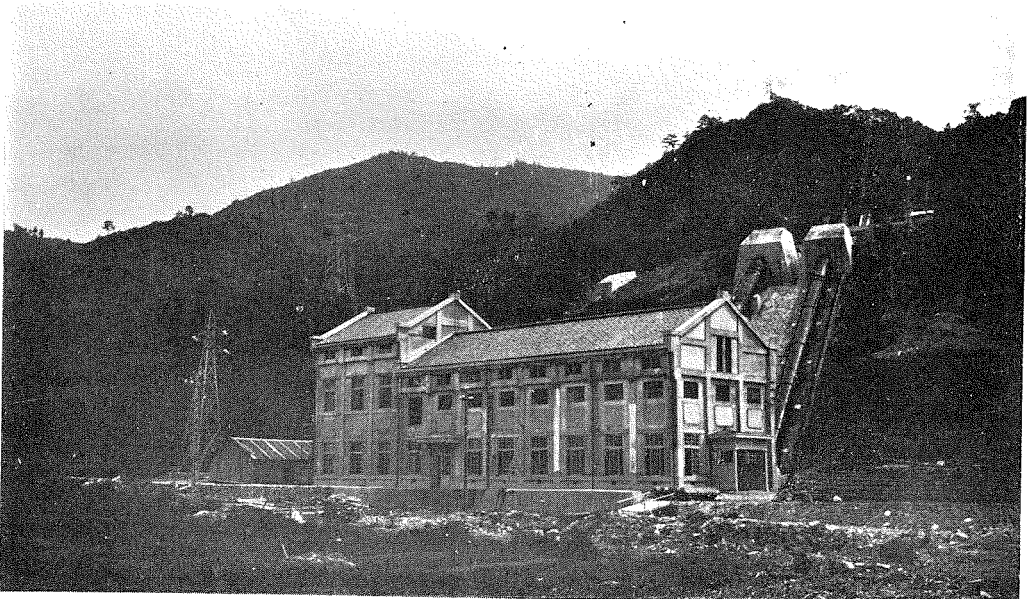
概要 延長72間、幅員15間、鐵筋コンクリート造にして、隔壁により沈砂池を二室に區分して上下流に設けたる水門扉により一室に於る沈滯土砂の排出の際、他室をバイパスに使用するものとす。沈砂池の上流部に於る土砂の排出法は縦式とし、二室を縦貫して高平均10尺、厚1尺の導流壁を設け、以て池内に於る流速を均等ならしむるに資し、且つ其上流端に於て水門6個を取付け、その開閉に依り各壁間の沈砂を流出するに便ならしむ。

上流部池内の底面勾配は $\frac{1}{15}$ とし、其末端に幅員5尺、高5尺の土砂吐口6個を設け、之より

沈砂池下流部の底下に敷設する幅員6尺の暗渠を経て土砂を和田川に排除するものとす。沈砂池下流部に於る土砂排出法は横式とし、底面勾配を中央隔壁より側壁に向つて $\frac{1}{4}$ とし、其下端より折返して池の中央部に向つて $\frac{1}{25}$ の勾配を有せしむ。土砂を排出せしむるには池内を縦貫せる隔壁中、水面下に設けたる幅3尺、高2尺の廻轉扉を垂直軸の廻りに90度廻轉する事により、水は充滿せる一室より他室に流下し、上記の勾配を有せる各底面上を流過して堆積せる土砂と共に中央隔壁下に設けたる既述暗渠に合流す。

(2) 富山縣營水電松ノ木發電所出力4,460KW

(2) Matsunoki Power Plant, 4,460 K. W.



(3) 同上松ノ木補給水路沈砂池全景

(3) General View of the Sand Basin.

